

天神川流砂系総合土砂管理計画に向けて

令和4年11月28日

中国地方整備局 倉吉河川国道事務所

天神川流砂系総合土砂管理計画策定方針

(1) 出席者からの主な意見及び対応

【主な意見】

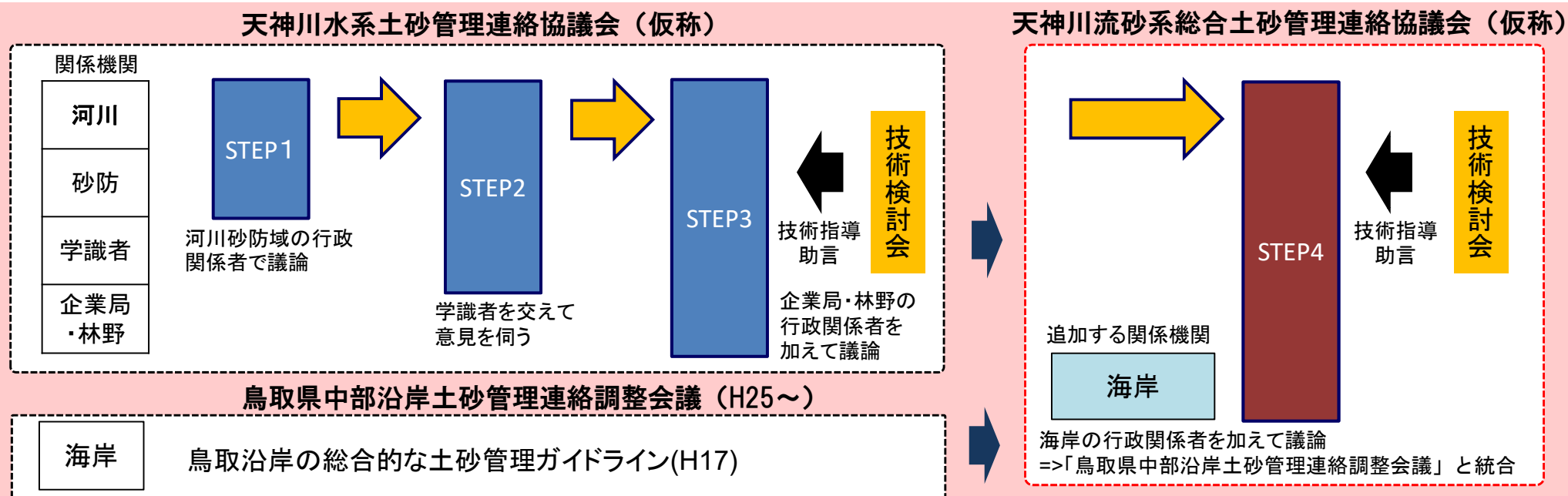
- ①協議会メンバーに海岸管理者を入れるべきではないか。
- ②企業局（中津ダム）はメンバーに入れるべきではないか。漁業や環境分野のメンバーがいない理由は。

【対応方針】

- ①海岸域以外の部分で「天神川水系土砂管理連絡協議会」を立ち上げ、河川部分が完了後、「鳥取県中部沿岸土砂管理連絡調整会議」を取り込んで、「天神川流砂系総合土砂管理連絡協議会」を立ち上げ、海岸管理者も入れて会議を実施。
- ②会議がステップごとに分けて実施（必要に応じメンバーを増やす）。各ステップ終了時に次のステップにおけるメンバーを選定し次のステップの検討に進める。各ステップの議論の中で、必要に応じ漁業や環境分野のメンバーを入れる。
なお企業局はメンバーに入れる（ステップ3を想定）。

(2) 協議会の進め方

- ①まず、天神川水系の河川・砂防域の意見を集約し、次に学識者の意見を伺った後、林野・ダムの意見を集約して河川・砂防域の「土砂管理計画（案）」をとりまとめる。
- ②次に、海岸域について平成25年から別途議論されている鳥取県中部沿岸土砂管理連絡調整会議と本協議会を「天神川流砂系総合土砂管理連絡協議会」として統合し、砂防域・河川域・海岸域を合わせた「総合土砂管理計画」をまとめてゆく。
- ③各ステップ変更する際は、規約を変更し委員を追加することで対応する。



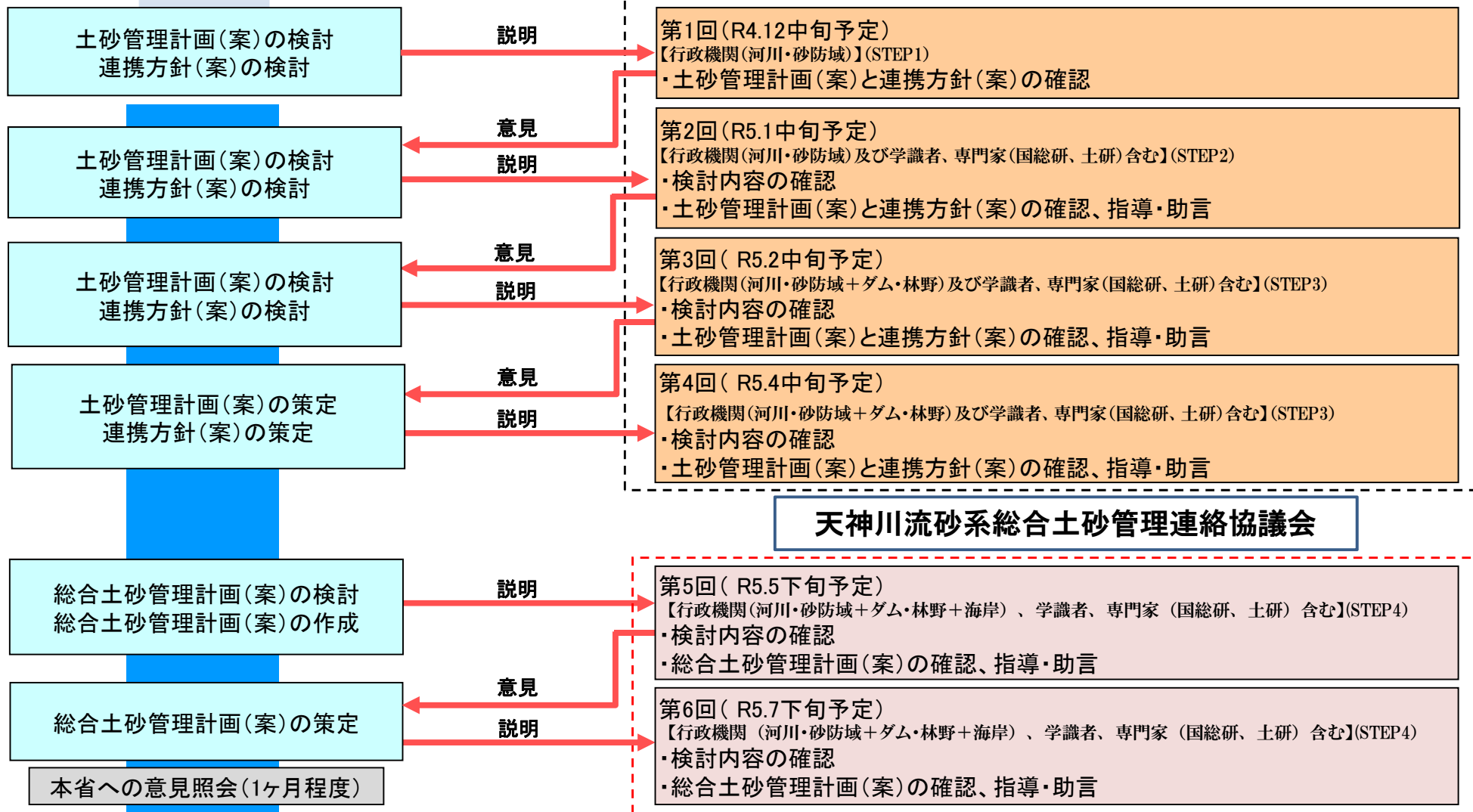
天神川流砂系総合土砂管理計画策定方針

(3)実施フロー

天神川水系土砂管理連絡協議会 準備会

R3.10、R4.10実施済 【行政機関】 ※海岸関係含む
・総合土砂管理計画(概要)と連携方針(概要)の確認

天神川水系土砂管理連絡協議会



本省への意見照会(1ヶ月程度)

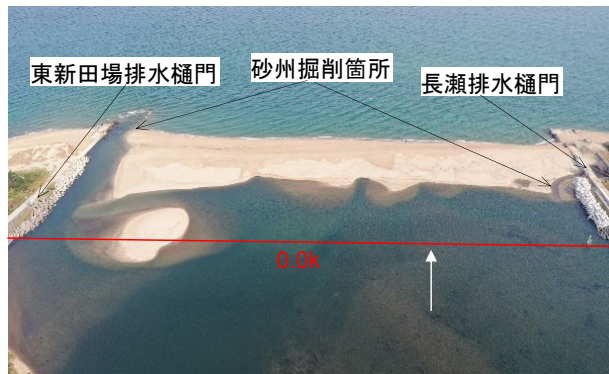
総合土砂管理計画策定(R5.10下旬予定)

天神川河口砂州における土砂管理対策及びモニタリング実施状況

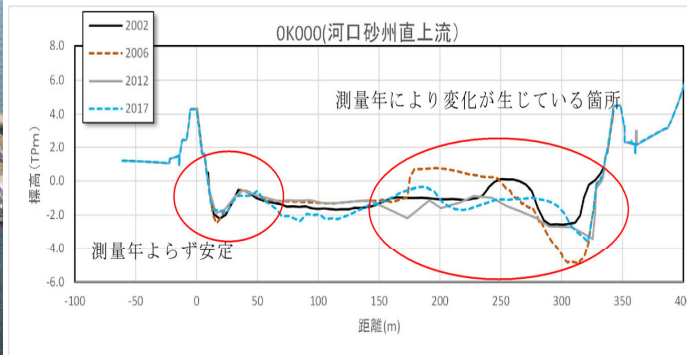
- 洪水が発生しない冬季は河口砂州がフラッシュしないため、主に西側からの波浪により河口砂州が拡大・閉塞し、内水被害が発生する。このため、河口閉塞防止のための水路掘削及び、長瀬排水樋門出口確保のための掘削を実施した。
- R3年7月出水により河口砂州がフラッシュされたため、UAVによるレーザ測量・写真測量を実施し、河口砂州の変化の把握を行った。

1. 河口砂州の掘削(河口閉塞防止のための掘削)

天神川の河口砂州は、主に西側からの波浪により海側の土砂が右岸側に堆積して拡大する特性がある。このため、比較的河床が安定している左岸側に水路を設け、水路断面維持(河口閉塞防止)のための掘削を行った。また、河口砂州の拡大に伴い、右岸側の長瀬排水樋門の出口前面まで拡大したため、樋門出口確保のための掘削を行った。



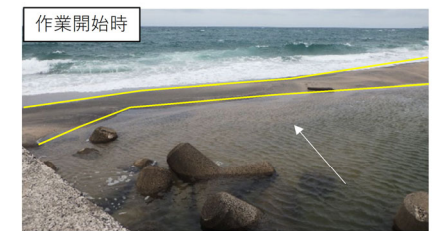
河口砂州の状況写真(R4.10.17)



0.0k横断経年変化図



掘削前(R4.6.13)



作業開始時

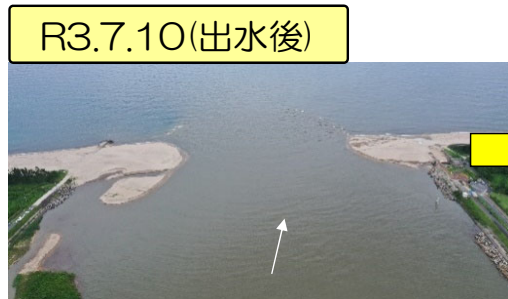


作業完了時

河口砂州掘削状況(R4.6.13)

2. UAVレーザ測量・写真測量による河口砂州の変化の把握

令和3年7月8日出水(小田観測所1,400m³/s)では左右岸の一部を残して砂州中央部がフラッシュした。約6か月後の令和4年1月4日では河口砂州が概ね回復しており、現在拡大中である。



R3.7.10(出水後)



R3.10.4



R4.1.4



R4.10.17